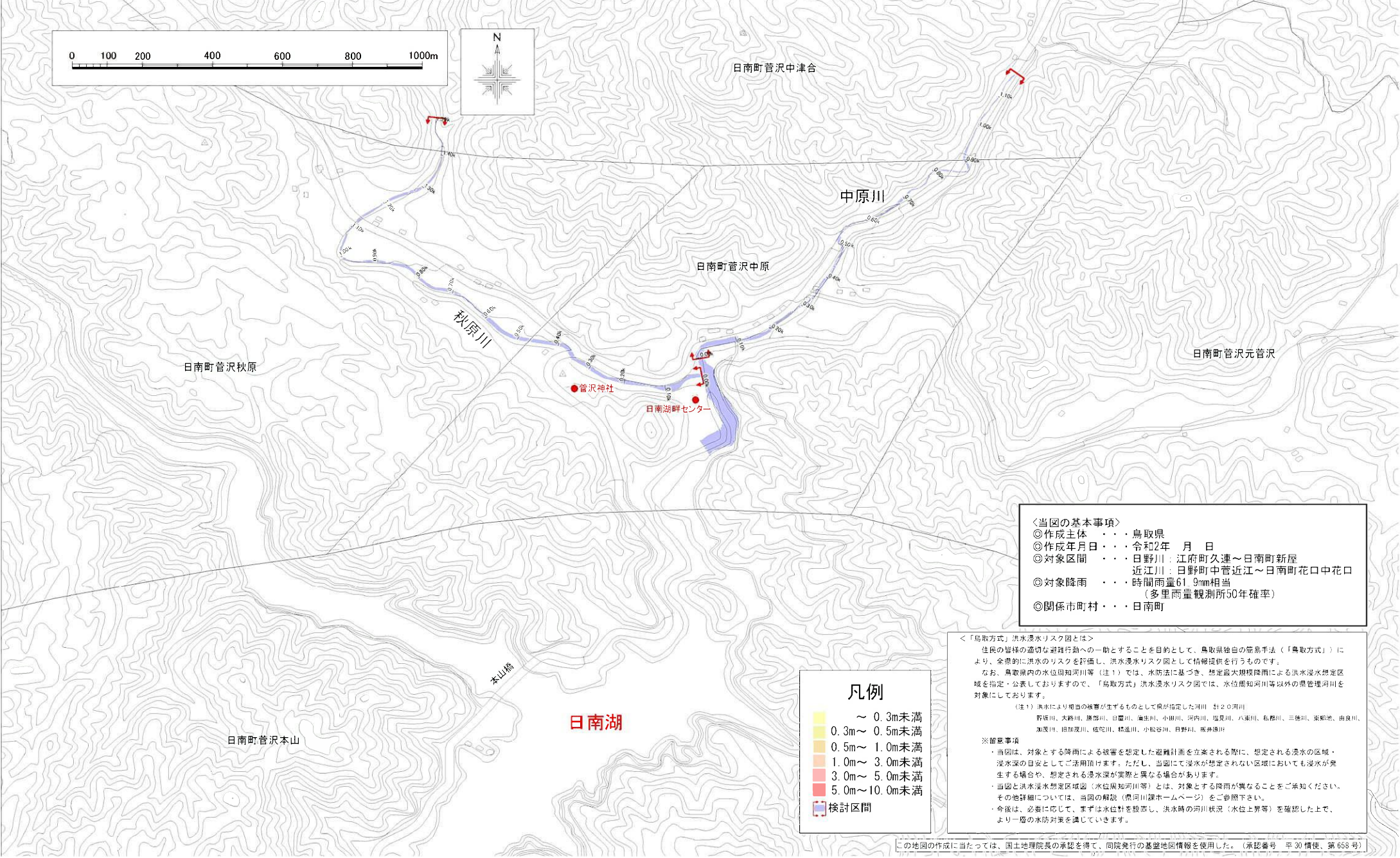
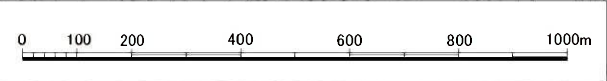


「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系中原川、秋原川】



〈当図の基本事項〉

- ◎作成主体・・・鳥取県
- ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
- ◎対象区間・・・日野川：江府町久連～日南町新屋
近江川：日野町中菅近江～日南町花口中花口
- ◎対象降雨・・・時間雨量61.9mm相当
(多里雨量観測所50年確率)
- ◎関係市町村・・・日南町

凡例

Yellow	～ 0.3m未満
Orange	0.3m～ 0.5m未満
Light Orange	0.5m～ 1.0m未満
Light Red	1.0m～ 3.0m未満
Red	3.0m～ 5.0m未満
Dark Red	5.0m～ 10.0m未満
Blue Hatched	検討区間

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞

住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全体的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。

なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象にしております。

（注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川
 野添川、大野川、藤原川、日置川、備前川、小田川、河内川、塩見川、八瀬川、私懸川、三徳川、家瀬川、由良川、加茂川、揖加茂川、佐陀川、越前川、小松谷川、日野川、板井川

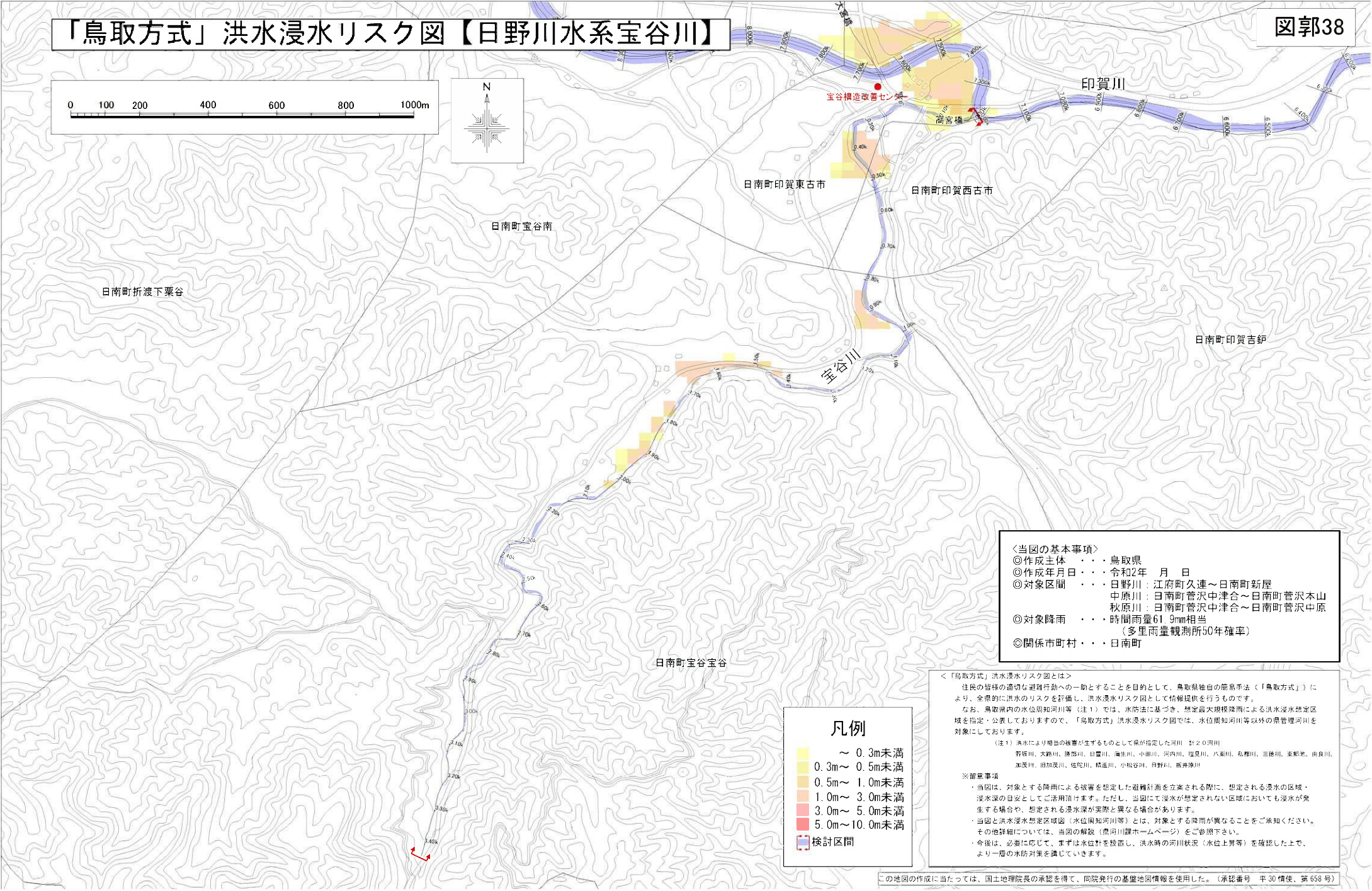
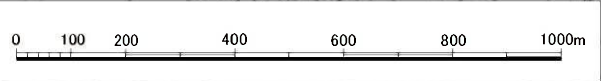
※留意事項

- ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合は、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
- ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
- ・事後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平 30 情使、第 658 号）

「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系宝谷川】

図郭38



＜当図の基本事項＞

- ◎作成主体 …… 鳥取県
- ◎作成年月日 …… 令和2年 月 日
- ◎対象区間 …… 日野川：江府町久達～日南町新屋
 中原川：日南町菅沢中津合～日南町菅沢本山
 秋原川：日南町菅沢中津合～日南町菅沢中原
- ◎対象降雨 …… 時間雨量61.9mm相当
 (多里雨量観測所50年確率)
- ◎関係市町村 …… 日南町

凡例

Lightest Yellow	～ 0.3m未滿
Light Yellow	0.3m～ 0.5m未滿
Yellow	0.5m～ 1.0m未滿
Orange	1.0m～ 3.0m未滿
Red-Orange	3.0m～ 5.0m未滿
Red	5.0m～ 10.0m未滿
Red with Blue outline	検討区間

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞

住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法(「鳥取方式」)により、全体的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。

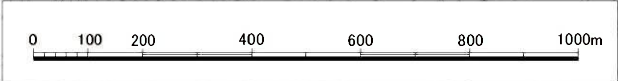
なお、鳥取県内の水位周知河川等(注1)では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象にしております。

(注1) 洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川
 野添川、大野川、藤原川、日置川、海生川、小田川、河内川、堤原川、八雲川、丸穂川、三徳川、東郷川、由良川、加茂川、道加茂川、佐陀川、精進川、小松谷川、日野川、板井川

※留意事項

- ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂きます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する機会や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
- ・当図と洪水浸水想定区域図(水位周知河川等)とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説(県河川課ホームページ)をご参照下さい。
- ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況(水位上昇等)を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系奥粟谷川】



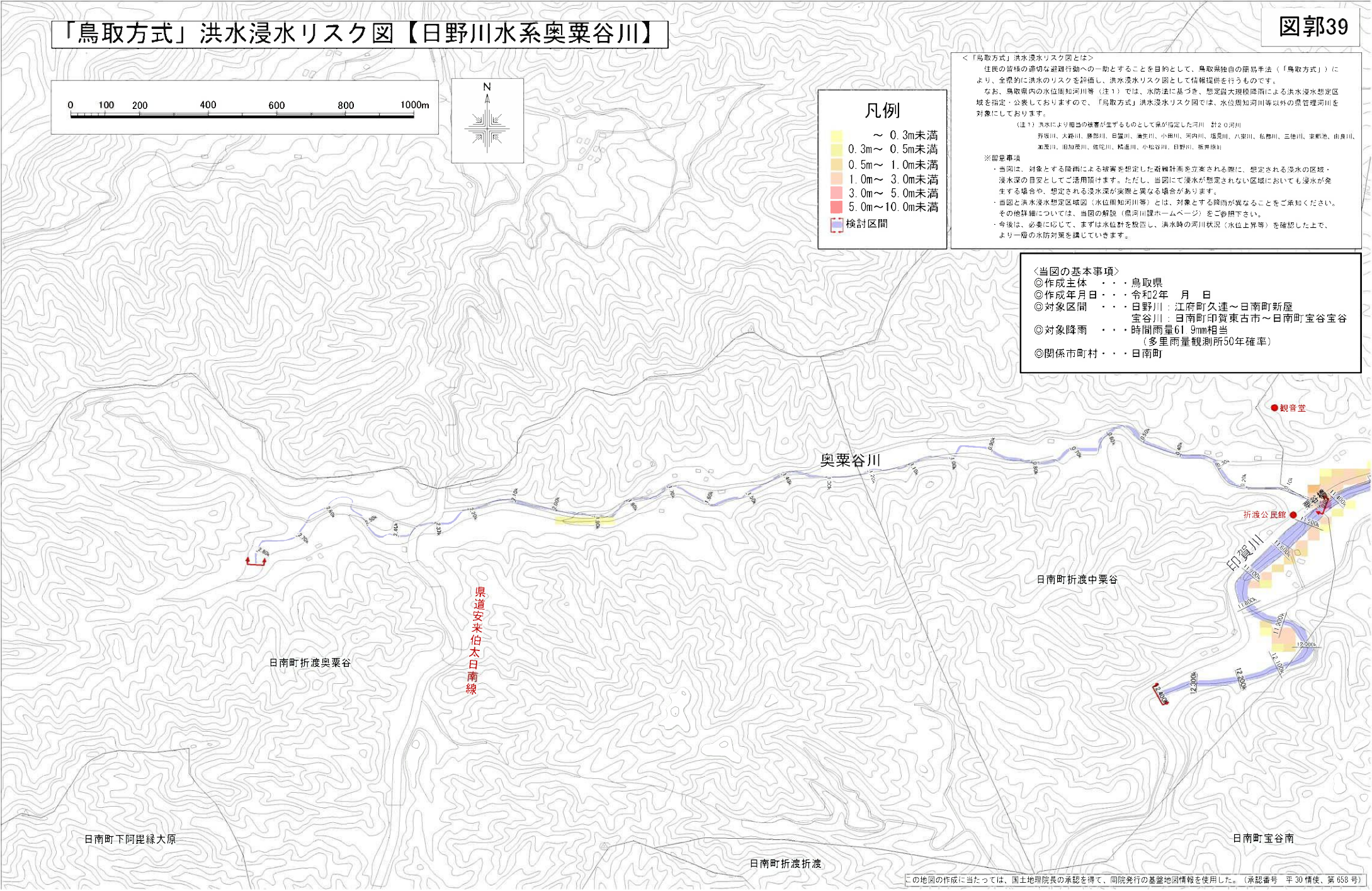
凡例

- ~ 0.3m未満
- 0.3m~ 0.5m未満
- 0.5m~ 1.0m未満
- 1.0m~ 3.0m未満
- 3.0m~ 5.0m未満
- 5.0m~ 10.0m未満
- 検討区間

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞
 住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全国的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。
 なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象にしております。
 （注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計2の河川
 野原川、大野川、藤原川、日置川、釜釜川、小瀬川、河内川、堀見川、八重川、松野川、三徳川、東郷池、由良川、加茂川、尾加茂川、佐野川、稲津川、小坂谷川、日野川、板井原川

※留意事項
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご利用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
 ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

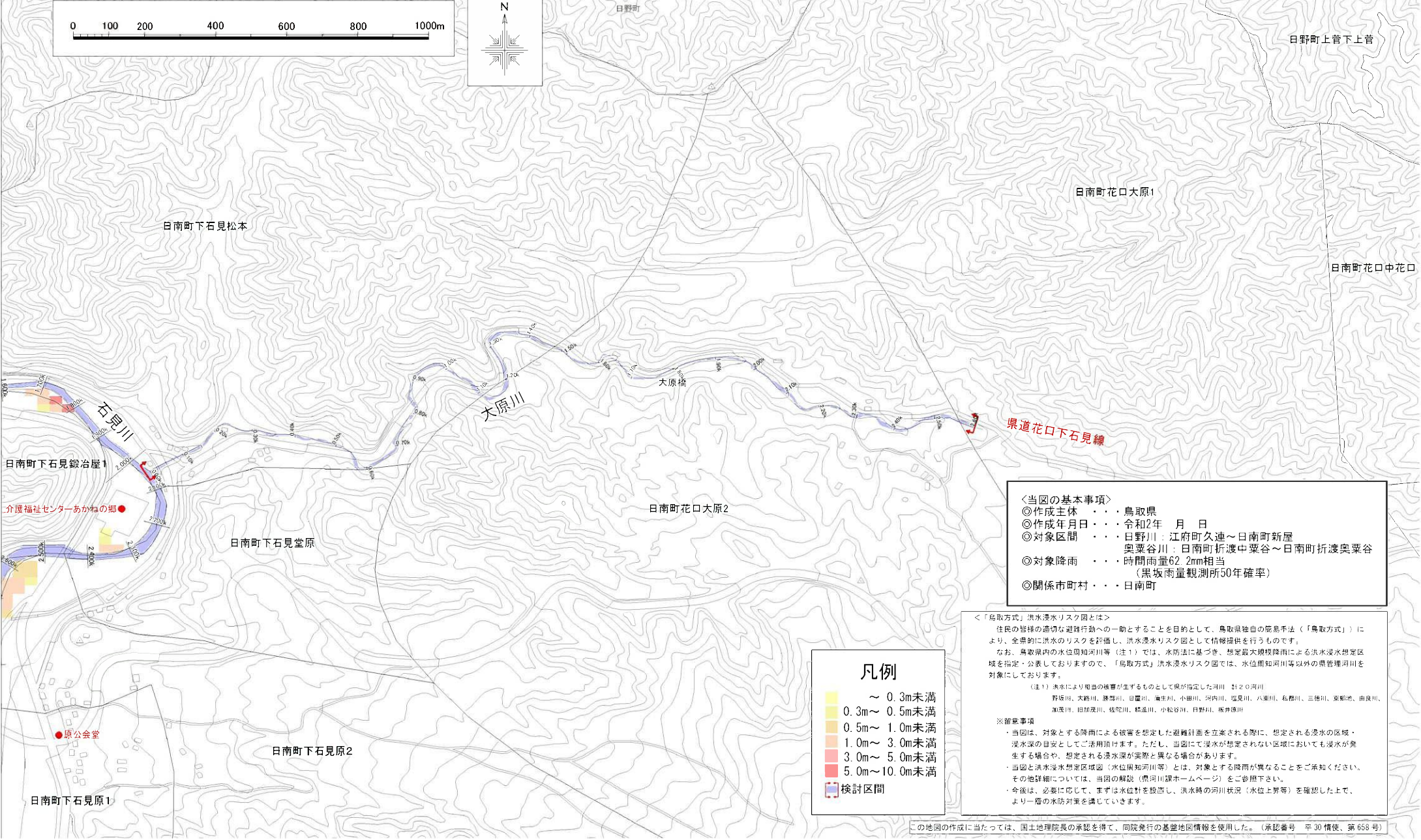
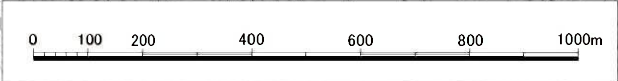
＜当図の基本事項＞
 ◎作成主体・・・鳥取県
 ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
 ◎対象区間・・・日野川：江府町久連～日南町新屋
 宝谷川：日南町印賀東古市～日南町宝谷宝谷
 ◎対象降雨・・・時間雨量61.9mm相当
 （多里雨量観測所50年確率）
 ◎関係市町村・・・日南町



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第658号）

「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系大原川】

図郭40



＜当図の基本事項＞
 ◎作成主体・・・鳥取県
 ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
 ◎対象区間・・・日野川：江府町久速～日南町新屋
 奥粟谷川：日南町折渡中粟谷～日南町折渡奥粟谷
 ◎対象降雨・・・時間雨量62.2mm相当
 (果坂雨量観測所50年確率)
 ◎関係市町村・・・日南町

凡例

Light Yellow	～ 0.3m未滿
Yellow	0.3m～ 0.5m未滿
Orange	0.5m～ 1.0m未滿
Light Red	1.0m～ 3.0m未滿
Red	3.0m～ 5.0m未滿
Dark Red	5.0m～ 10.0m未滿
Blue outline	検討区間

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞
 住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。
 なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象にしております。
 （注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川
 野坂川、大野川、藤原川、日置川、備前川、小田川、河内川、塩見川、八里川、石見川、三徳川、家船地、由良川、加茂川、田加茂川、佐野川、小松谷川、日野川、板井川
 ※留意事項
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実態と異なる場合があります。
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
 ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平 30 情使、第 658 号）